

## 1 学校目標

## 1 教育目標（建学の精神）『あなたたちは世の光である あなたたちは地の塩である』

- (1) 自分のまわりに喜びと光をまく人として、将来社会に貢献できる人材を育成する  
 A. 主体性を育てる B. 自己を他者にひらいてかかわる力や態度を養う  
 C. 神に心をひらく生き方を促す D. 調和のとれた人格の発達をめざす
- (2) 建学の精神をふまえ、すべての生徒がその個性と能力を最大限に伸ばすことを願い、学力を基礎とした人間力のある生徒を育成する
- (3) 国際社会共通の目標である SDGs に学校全体で取り組む（広い視野で自分ができる役割について考える）

## 2 生徒に身につけさせたい資質・能力 『人間力』

グローバル化や情報化、少子高齢化、AI 技術の発展など社会の急激な変化があり、先行きが不透明な時代となってきた。その中で、幅広い知識や柔軟な思考力を活用して新しい付加価値を生みイノベーションを起こせる人材や他者と協働して課題解決を行える人材が求められている。学校では、学習以外でも人間性を育てることが重要で、進路指導、生活指導、スポーツ・芸術指導などを通して幅広い知識や柔軟な思考力を育てていきたい。思春期である中学・高校の学校生活は、成長に大きな影響を与えている。そのため、先生方には以下の力を身につける具体的な取り組みを実施してほしい。

## 人間力を形成する3要素

- (1) 知的能力的要素 …基礎学力、専門的知識、プレゼンテーション力、論理的思考、創造力
- (2) 社会・対人関係的要素…コミュニケーション力、リーダーシップ、公共心、規範意識、相互啓発
- (3) 自己制御的要素 …意欲、忍耐力、自己受容・自己実現力、整理整頓

## 3 ミッション 『教育の特色を理解し、生徒一人ひとりの自己実現を支援する』

- (1) 萩光塩学院の教育の理念を理解し、それを日々の学校教育において具体化し、充実・発展させていく
- (2) 各教科で研究を行い、基礎学力の定着と応用力の発展に努める
- (3) 生徒の進路実現に向けて課題をみつけ、対策・強化に努める
- (4) 地域との連携・協働を通じて生徒の役割や活動の場をさらに増やし、生徒の自己肯定感の醸成を図る

## 4 めざす教師像 『自分のまわりに喜びと光をまく教師』 = 信頼される教師

- ・生徒、保護者が何を考え、何を求めているか敏感に感じとり、的確に対応する教師（感性を磨く）
  - ・それぞれの役割や立場で、正しい判断が迅速にできる教師
- (1) 教育的な情熱・真剣さ・・・教師として真剣に教育活動に携わる心をもつ
- ・理想を掲げ、具体的な目標に向かって生徒と共に汗をながすことができる教師
  - ・生徒一人ひとりのよさや可能性を引き出し、のばすことができる教師
  - ・受容的姿勢を大切にすると共に、生徒の将来を意識して「是は是、非は非」とした指導ができる教師
  - ・真摯な態度で職務に取り組み、モラルの向上と綱紀の保持に努める教師
- (2) 教育的力量を身につける・・・教師としての能力や技能、指導力を身につけて実践する
- ・教科研究、教科指導に積極的に取り組む教師
  - ・責任を持って自分の役割を果たすと共に組織の一員であることを忘れず、助け合うことが

できる教師

- ・生徒や保護者との連携を図り、迅速に対応することで信頼関係を築くことができる教師
- ・地域との交流を深化し、地域が本校に求める情報等を入手し、学校・クラス運営に反映させる

(3) 総合的な人間力を高める・・・教師としてある前に、人としての魅力を高める

- ・自らの個性や特技を積極的に発揮することができる教師
- ・日常生活の中で自分自身を客観的に見つめ、自らの課題を理解し、前向きに自分自身を成長させていこうとする考えや姿勢を持つ教師
- ・自ら考え、工夫し、チャレンジ精神を忘れない、実践力のある教師

5 教職員全員で気をつけて取り組むべき7項目 『基礎基本の徹底』

・教職員としての立場を自覚し、常にTPOを意識して仕事に取り組む

- (1) 提出物の期限を守る (ミスや間違いがないかを確認し、必ず期限を守って提出する)
- (2) 教職員同士の連携を強化する (コミュニケーションを大切に、ミスを補い合う気持ちを高める)
  - ・上司や先輩が、部下や後輩に対して、仕事をとおして、必要な知識・技術・技能・態度などを意図的、計画的、継続的に指導し修得させ全体的な組織としての業務遂行能力を高める (OJT)
  - ・計画、実行、反省、改善を徹底し、分掌間の情報を確実に共有する (PDCA)
  - ・学年部内や分掌内、分掌間の情報を確実に共有する
- (3) 綱紀保持に努める
  - ・体罰、暴言、飲酒運転、交通事故、個人情報の管理、各種ハラスメント、公金管理、言葉遣いなど
  - ※暴力的な言葉、馬鹿にするような言葉、相手の人格を否定するような言葉は使わない
  - ※生徒の個人情報に関することについては、校長の許可なく学校外で話したり公表したりしない
  - ※生徒を自ら運転する車に乗せ引率する場合は、必ず校長・保護者の許可を得る。また前日から体調管理に努め、体調不良の時は運転しない (法定速度等を遵守すること)
  - ※「生徒に伝えること、伝えてはいけないこと」等をはっきり区別できる判断力を身につける
  - ※就業規則、職員手帳を熟読し規範意識を高める
- (4) 学校施設・設備・備品の管理・取り扱いに注意する (使用した物は確実に元あった場所にかたづける)
- (5) 時間を守る (授業やホームルーム、掃除、職員会議、諸会議の開始と終了、勤務時間等)
- (6) 身の周りの整理整頓を確実に行う (机上やロッカー、身の周りなど)
- (7) 健康管理に努める

教育活動を行うにあたって、「自分がどうしたいか」という熱い思いを持って指導することは大切ですが、そればかりではなく、その時々「自分はどうすべきか」と自問自答しながら行動することも大切です。

## 2 スクールミッション

萩光塩学院中学校・高等学校はキリスト教の人間観・世界観を教育の基盤とし、生徒一人ひとりがかけがえのない存在であり、「世の光 地の塩」であることを大切にしています。その上で生徒一人ひとりがもっている個性と可能性をさらに発展させ、自分のまわりに喜びと光をまく人として、将来社会に貢献できる人材の育成を教育の中心に置きます。

### ☆アドミッション・ポリシー

萩光塩学院中学校・高等学校では以下のような生徒を求めています。

- 萩光塩学院で学びたいという強い希望をもち、学校の特色を尊重しながら主体的に学んでいこうとする生徒
- 自分のまわりに喜びと光をまく人として、社会に貢献しようとする生徒
- 自らの個性と可能性を最大限に伸ばし、学力を基礎とした人間力を育もうとする生徒
- 学校行事や部活動に積極的に取り組み、豊かな人間性を育もうとする生徒

### ☆カリキュラム・ポリシー

萩光塩学院中学校・高等学校では以下のような方針でカリキュラムを編成しています。

- キリスト教的世界観・価値観を育成し、倫理観を養う
- 基礎学力を養成しながら、一人ひとりの学力、志望に沿ったコース制・選択授業を展開する
- 授業や探究活動を通して思考力・判断力・表現力を磨く
- 学校行事や部活動に積極的に取り組み、豊かな人間性を育もうとする生徒

### ☆グラデュエーション・ポリシー

萩光塩学院中学校・高等学校は、複雑化する国際社会の中で、幅広い知識や柔軟な思考力を活用して、新しい付加価値を生み出すイノベーションを起こせる人材や、他者と協働して課題解決に取り組める人材を育てるために、すべての生徒が以下の力を身につけることを目標に教育を行います。

- 探究心をもち、知性・教養・個性を磨き続ける力
- 人間力を形成する3つの要素（知的能力的要素・対人关系的要素・自己制御的要素）を磨き続ける力
- 国際社会の一員として、共生と平和の大切さを自覚する力
- 他者を受け入れ、喜んで他者のために働き続ける力

### 3 取り組みとそれに対する評価

教 務	
目標（計画）	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 生徒の基礎力と学力の向上を図る</li> <li>(2) 選択教科の学習内容の充実を図る</li> <li>(3) 教員として必要な資質向上のための研修をおこなう</li> <li>(4) 教員の授業力向上を図る</li> <li>(5) 建学の精神の進化を図る</li> <li>(6) 業務を簡素化し、効率的に仕事を進められるようにする</li> <li>(7) ICT 機器の積極的な活用を図る</li> </ul>
実施事項 （活動内容）	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 朝の時間を使い、国・数・英の基礎知識の定着を図る朝学（高校のみ）と読書の時間に加え、今年度より新しく教員が月目標や自由なテーマで話をし、それを聞いて生徒が感想を書く時間を設定した。これらを通して、読解力や思考力、表現力を養っている。国語では校内漢字テスト、英語では校内英単語テストを年に4回実施している。（中学校はこれに加え、数学で年に4回の計算テストを実施している）成績優秀者には表彰を、目標点数が足りない生徒には、追試験をおこなうなど意欲的に学ぶ姿勢を育てている。 中学校・高校の特別進学コースは7時間目の授業や課外授業、土曜登校日などで学力向上や受験対策をおこなっている。高校の普通コースの生徒には、基礎学力講座や大学進学講座、准看対策講座を実施するなど、生徒のニーズに合わせた授業をおこなっている。学力支援が必要な生徒に対しては、個別に学習支援をおこない、基礎知識の定着を図っている。</li> <li>(2) 昨年度より新しい選択教科がスタートし、萩市と連携し明倫学舎などで授業をおこなっている「課題研究」では、どのような内容に取り組めるかを考えながら、学習内容の充実を図っている。</li> <li>(3) 今年度も様々な種類の研修を行い、教員としての資質向上に努めた。カトリック研修では廿日市聖母マリア幼稚園を訪問し、合同で研修を行った。6月、2月にスクールカウンセラーによる、いじめ問題への対応に関する研修を実施した。また、進路指導部や生活指導部による研修も行った。今年度も若手教員を対象に2回ほど神父様に来ていただき、カトリック研修を行った。</li> <li>(4) 各教科で研究授業を実施し、授業参観や事前事後の研究協議を通して、授業力向上に努めた。電子黒板やプロジェクターなど ICT 機器を積極的に活用し、分かりやすい授業づくりへの取り組みも実践できている。生徒に貸与しているタブレットを活用して授業を進める教科も多く、年々効果的に活用することができている。年に2回授業アンケートを実施し、現状や課題を把握し、よりよい授業づくりに活かすことができた。</li> <li>(5) 毎朝の朝礼で「朝の奉献の祈り」と「主の祈り」、「光塩生徒の姿」を唱えることで、光塩の生徒が目指す生徒像を確認している。学期に1回、テーマをもとに「学院の精神」をホームルームの時間におこない、建学の精神について考えを深めた。また、11月1日の開校記念ミサの前には、探究（総合）の時間を通して、萩光塩学院の歴史について学んでいる。</li> <li>(6) 今年度も校務支援システムを活用して指導要録・調査書の作成、タブレットを活用しての朝学や授業アンケートの実施などに取り組んだ。様々な場面で有効に ICT 機器を活用することができている。昨年度より導入したデジタル採点システムも活用する教員が増え、成績処理の効率化につながっている。</li> <li>(7) 昨年度より入試に Web 出願を導入し、入試業務の改善を図っている。今後の改善点もあるが、スムーズに事務処理を終えることができた。</li> </ul>

<p>反省 (振り返り)</p>	<p>(1) 新しく始めた教員の話を書いて生徒が感想を書く時間では、さまざまな考え方に触れるとともに、そこから感じたことを短時間で文章にまとめる力を養うことができ、生徒にとって非常に有意義な時間になっている。漢字テストや英単テストも成績優秀者が年々増えており、自ら学習する意識が身に付いてきている。課外授業や土曜登校日、個別学習においてもそれぞれ成果が表れている。</p> <p>(2) 選択教科の幅が広がったことや探究活動が増えたことで、主体的な学習へとつながっている。しかし、公務員・情報コースで行っていた萩市企業誘致課と連携した授業が、日程の都合で実施できなかったため、来年度は再開させたい。</p> <p>(3) 今年度も研修を充実させることができた。様々な種類の研修を定期的に行うことができていること、教職員の資質向上にもつながっているように思う。</p> <p>(4) 各教員が ICT 機器を積極的に使いながら授業を行っているため、生徒にとっても分かりやすい授業になっている。研究授業をもっと行う必要がある。</p> <p>(5) 担当が毎回「学院の精神」の修正を行い、よりよい授業になってきている。生徒同様、教員ももっとカトリック研修を行い、知識や幅広い考え方を身につける必要がある。</p> <p>(6) 様々な場面で業務改善がおこなえている。多くの教員がデジタル採点システムを活用し、採点業務の時間短縮につなげることができている。</p> <p>(7) 一人ひとりがタブレットを持っていることで、多くの場面で ICT 機器を活用する意識が高まってきている。有効に使用できている場面が多くあった。</p>
<p>評価 (5段階)</p>	<p>4</p>
<p>来年度へ向けて</p>	<p>選択教科、課外授業などの内容充実のため、見直し、改善を図る。 教員の研修の機会を増やす。 今年度できなかった課題を早急に改善していく。 さらなる効率化を目指して、簡素化できる業務を改善していく。 ICT 機器の更なる活用を促していく。</p>

進路指導	
目標（計画）	<p>高1：学習習慣を身につけ、基礎学力の確認・充実を図る。自分の適性を把握し、将来像を描く。</p> <p>高2：職業や学部・学科への知識を深め、自己の進路をより具体化する。</p> <p>高3：進路目標の達成のための学習計画を遂行し、就職や進学への本格的に取り組む。</p>
実施事項 （活動内容）	<p>(1) 各学年で HR や総合的な探究の時間を利用して進路講話を実施。 高1：5月、10月 高2：5月、10月 高3：4月</p> <p>(2) 毎学期、ライセンスアカデミーによる進路ガイダンスを実施。1、2学期は大学・企業の説明会を実施。3学期は職業体験授業と進路講演会を行う予定である。</p> <p>(3) 進学希望者に対しては、受験前に面接練習や小論文指導の実施。</p> <p>(4) 就職希望者に対しては、就職サポーターの助言をもらいながら、企業訪問や面接練習を実施。</p> <p>(5) 高3保護者対象の進路説明会を5月に実施。</p> <p>(6) 高2は5月に安田女子大学を訪問し、進路研究を行った。</p> <p>(7) 高2は6月に外部業者によるオープンキャンパス講座を開催。</p> <p>(8) 高2は7月に進路適性検査を実施。</p> <p>(9) 高2は7月に進路研究の一環として職業人インタビューを実施。</p> <p>(10) 高1は9月に至誠館大学の大学説明会に参加し、進路研究を行った。</p> <p>(11) 1、2年の希望者対象の有名私立大学オープンキャンパスツアーは、申し込みが少なかったため実施できなかった。</p> <p>(12) 夏休みに夏期講習、冬休みに冬期講習を実施。春休みに春期講習を実施予定。</p> <p>(13) 毎月模擬試験の実施。</p>
反省 （振り返り）	<p>(1) 進学希望者への面接練習も予定表を事前に提示し、計画通りに進めることができた。</p> <p>(2) 高2は5月の大学訪問で進路意識を高め、6月のオープンキャンパス講座、7月に職業人インタビューなどを通して進路に対する意識を高めることができた。</p> <p>(3) 引率教員をつけての有名私立大学オープンキャンパスツアーを実施できなかったのは残念だったが、来年度以降も募集は続けていこうと思う。</p> <p>(4) 高大連携をしている至誠館大学への進学者は、昨年度はゼロだったが、今年度は3名の予定である。今後も高大連携の繋がりを大切にし、地元進学の魅力についても伝えていきたい。同じく高大連携協定を結んでいる上智大学への進学者はゼロだった。この2校はコンスタントに進学者を送り出していきたい。</p>
評価（5段階）	4
来年度へ向けて	<p>(1) 毎年入試方法が多様化し、生徒自身が情報収集、準備を早めにするように意識させる必要がある。教員も最新の情報を得て迅速に対応していくことが欠かせない。</p> <p>(2) 短期大学や専門学校の募集停止が増えてきている。進学先を検討する際には気を付けておきたい。</p> <p>(3) 今後も生徒一人ひとりと向き合い、丁寧な進路指導に努めていきたい。</p>

生活指導	
目標（計画）	<p><b>生徒指導の目的</b> 生徒一人ひとりの夢の実現に向けて、自分の言動に責任をもつことができる力（自己指導能力）を育成する。</p> <p><b>生活指導目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「規範意識を高める」「いじめを根絶する」</li> <li>・ルールやマナーを自ら守り、モラルの向上をめざす。</li> <li>・正しい服装をする。</li> <li>・遅刻をしない。</li> <li>・すすんであいさつをする。</li> <li>・場にあった正しい言葉づかいをする。</li> <li>・身の回りの整理整頓をする。</li> </ul>
実施事項 （活動内容）	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 携帯・パソコン安心講習会</li> <li>(2) 交通安全教室</li> <li>(3) 薬物乱用防止教室</li> <li>(4) Fit、生活アンケートの実施</li> <li>(5) 試験期間中の校外指導</li> <li>(6) 各学年による服装検査</li> <li>(7) 避難訓練</li> <li>(8) 校則の見直し</li> <li>(9) 熱中症防止対策マニュアルの作成</li> <li>(10) いじめ防止対策基本方針の改訂</li> </ol>
反省 （振り返り）	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) LINE、インスタグラム、ビーリアル等の SNS のトラブルが今年度もあった。使用の仕方について引き続き講習会や細かな指導をしていく必要がある。警察や家庭と連携して情報モラル・マナーを今後も身につけさせるとともに、対面で話をすることの重要性を理解させたい。</li> <li>(2) Fit や生活アンケート、定期的な面談で生徒の悩みなどの早期発見、対応ができたが、表面化していないものも多くあるということも意識しておかなければならない。教育相談、SC との連携強化が今後必要である。</li> <li>(3) いじめ対策強化のために学校いじめ防止基本方針を新たに作成し、教員対象に研修を開催した。それらを通していじめ防止や早期対応の重要性を再認識してもらい、対応方法についても改めて共有できた。昨年度より対応を進めていたいじめ案件においては、加害生徒への厳正な措置と継続的な指導、被害生徒への組織的な見守り体制を構築し、再発防止に向け経過観察を行っている。また、今年度もいじめ対策委員会で1件いじめ認定を行い、現在対応中である。</li> <li>(4) 校則の意味をきちんと理解させ、各自でしっかり判断させることが重要である。社会の変化などに応じ、定期的に確認、見直しをしていく。</li> <li>(5) 避難訓練を行い、教員間の連携体制の確認をすることができた。危機管理マニュアルを全教員が把握して行動できる体制づくりが必要である。</li> <li>(6) パーカー導入に伴い、制服の着方について見直しをした。</li> </ol>
評価（5段階）	3
来年度へ向けて	<p>今後も必要なものは残しつつ、生徒の判断に任せられるものや任せるべきものを考えながら検討していく必要がある。</p> <p>SNS トラブルやいじめの根絶に向けて、生徒のコミュニケーション力や人権意識を高める指導にも継続して力を入れていきたい。</p>

教育相談	
目標（計画）	生徒一人ひとりの自己実現に向けて、教育上の諸問題について、本人または、保護者、すべての教職員とともに解決に向けて取り組む。
実施事項 （活動内容）	<p>(1) 「個別の支援計画」を持った生徒への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校、中学校との引き継ぎ</li> <li>・保護者との事前教育相談</li> <li>・専門機関との引き継ぎ及び保護者を交えた相談</li> <li>・継続支援の実施</li> <li>・担任、教科担当への引き継ぎ</li> </ul> <p>(2) 気になる生徒の早期発見／早期対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実態把握</li> <li>・必要に応じて面談と指導、支援の実施</li> <li>・学校生活実態から、必要に応じて該当生徒の学年会議</li> </ul> <p>(3) ケース会議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題発生に伴い、会議を実施</li> <li>・生活指導問題と関連して必要に応じて会議</li> <li>・スクールカウンセラー、担任と共に、実態把握や支援に繋げるための会議</li> <li>・スクールカウンセラー、担任との会議</li> <li>・保護者を交えての会議</li> </ul> <p>(4) 専門機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関、地域機関、警察、法務支援センター、児童相談所と連携</li> </ul> <p>(5) 情報収集</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度末に小中学校との引継</li> <li>・担任、教科担当への支援</li> <li>・本人への指導、支援、面談</li> <li>・保護者に対する相談窓口</li> <li>・各医療機関へのお願いと連絡情報収集</li> </ul> <p>(6) スクールカウンセラーとの連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒、保護者、教員との面談</li> <li>・各学年の心理教育授業の実施</li> <li>・入学時、卒業時の心理授業</li> <li>・いじめ対策委員会への参加と助言を受け対応の実施</li> <li>・問題事案の助言と会議</li> <li>・生徒情報及び状況から助言を受け、対応の実施</li> <li>・学期ごとに職員研修の実施</li> </ul> <p>(7) いじめ対策委員会への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活指導と協力し、生活アンケート等からの会議</li> <li>・実態把握</li> <li>・いじめ事案のケース会議への参加</li> <li>・いじめ事案の対応の実施</li> </ul>
反省 （振り返り）	<p>今年度から新たに教育相談担当となった為、至らない点も多々あった。しかし、分からないこと、不安なことが多くあるおかげで、多くの先生方に相談しながら進めることができ、教育相談についての考え方や取り組み方を学ぶ機会を多く得られた。</p> <p><b>【スクールカウンセラー】</b></p> <p>学級担任を通して生徒とスクールカウンセラー（以下 SC）をつなぐ場面では、その事案が本当に SC 相談の必要があるか、必要に応じて立ち止まって考えなければならない。また、SC につなぐ手順の認識に差があり、改めて明確にする必要があると感じた。学級担任や部活動顧問、各学年がまずは相談内容を理解し、取るべき手立てを考えられるよう、促したい。また 1 人の教員が事案を抱え込み、「SC 相談しか解決策がない」という思考にならないためにも、教育相談担当だけでなく、できるだけチームで判断できる環境設定をしていくべきである。「SC につないで終わり」、「相談して満足」にならない仕組み作りを構築したい。</p> <p>年間予定時数に関して、年度初めは相談希望が多かったこともあるが、内容を選別せずに SC につないでいたため、SC 来校日が相談時間だけで終わってしまい、SC からのフィードバックの時間が確保できないことが多かった。また保護者の希望時間が、設定している年間予定と合わないこともあり、予定していた日程以外でも SC に来校してもらったり、電話相談させてもらったりと負担をかけてしまった。年間予定の周知の際、できるだけ保護者に時間を合わせてもらうこともお願いする必要がある。</p>

	<p><b>【他教員との連携】</b></p> <p>昨年度までは養護教諭が教育相談を兼務していたため、今年度から教育相談をどのように機能させるかを心配していたが、多くの先生方に相談したり、養護教諭との連携を密に行ったりすることで、その懸念は解消され、養護もしくは教育相談から学級担任や部活動顧問への情報共有はスムーズに行うことができた。これからも迅速かつ綿密な情報共有は必須である。</p> <p>教育相談が生活指導の中に組織されたことで、いじめや人間関係の問題にもスムーズに取り組むことができた。</p>
評価（５段階）	3
来年度へ向けて	<p>教育相談体制を明確にし、漏れなくスムーズに問題解決に向かえるシステムが必要である。生徒一人ひとりが充実した学校生活を送れるよう、学校全体で生徒たちの小さな変化に気づき、それぞれに寄り添った対応ができる環境づくりに取り組むたい。問題解決のためだけでなく、問題が起きないための取組も考えるべきである。</p>

募 集	
目標（計画）	<p>(1) 広報担当を中心に、円滑に募集活動を行う。</p> <p>(2) 萩市内や長門市、山口市の宣伝を充実させる。</p> <p>(3) 光塩会の協力を得る。</p> <p>(4) SNS を有効に使い、情報を広く発信させる。</p>
実施事項 （活動内容）	<p>(1) スクールガイドなどをもとに、責任者(今年度も校長が兼務)を中心に計画と活動を実施した。</p> <p>(2) 広報活動や広告、オープンスクール、萩ケーブルネットワークやはぎ時事への取材交渉などを広報担当が行った。また、長北地区外からの生徒募集につなげるため、運動部を中心に募集活動を行った。</p> <p>(3) 中学校訪問は、教員が萩市や長門市に加え、山口市、美祢市、宇部市、山陽小野田市、周南市、岩国市や下関市の学校にも行った。</p> <p>(4) 小学校訪問は、中学校教員が萩市内、阿武町の各学校に年2回行った。</p> <p>(5) TVCM などメディアを利用した宣伝活動を行った。今年度、TVCM をリニューアルし、オープンスクールに合わせて、7月と9月にそれぞれ15回ずつ放送した。</p> <p>(6) Facebook と Instagram、ホームページで学校の活動を発信した。</p> <p>(7) 光塩会役員の協力を得て、ポスター掲示を円滑に行うことができた。教職員の負担軽減、業務改善につながっている。</p>
反省 （振り返り）	<p>(1) 教職員だけでなく保護者の方々と連携をとって宣伝活動ができた。</p> <p>(2) 光塩会の協力で市内ポスター掲示をスムーズに行うことができた。</p> <p>(3) 新聞やテレビで本校の活動が例年以上に多く取り上げられ、広く宣伝することができた。</p> <p>(4) Facebook や Instagram により、多くの人に本校の活動・取組について情報発信をした。</p> <p>(5) 学校紹介用 DVD、TVCM を活用し、生徒募集につなげることができた。</p>
評価（５段階）	4
来年度へ向けて	<p>(1) 地元である萩・長門地区の生徒・保護者にこれまで以上に本校の魅力を発信する必要がある。</p> <p>(2) 中学校や小学校訪問の地域をさらに広げ、長北地区以外の生徒募集増加につなげていきたい。</p> <p>(3) 各種メディアを活用し、幅広い地域の生徒・保護者に情報を発信していきたい。</p> <p>(4) 今後も、引き続き保護者の協力を得ていきたい。</p> <p>(5) ホームページの情報更新を、スピード感をもって行う。</p>

生徒会	
目標（計画）	(1) 生徒が自ら喜びをもって活動できる学校を作る。 (2) 新たな企画を行うと同時に、いままでの行事を充実させる。 (3) 委員会、部活動と連携し、活動の幅を広げる。
実施事項 （活動内容）	<b>全体（高校執行部）</b> (1) 企画・運営 ・新入生歓迎会                      ・文化祭（出し物、販売） ・お楽しみ会                      ・3年生を送る会 (2) ボランティア活動 ・World Vision チャイルドスポンサー ・アイシティ eco プロジェクト ・市内3校合同清掃活動 (3) 代議委員会（月目標決定）、中央委員会の開催 (4) 生徒会新聞発行（各学期） (5) 朝のあいさつ運動 (6) 行事等の進行、あいさつ（壮行式、オープンスクール等） (7) バザー協力をお願い (8) はあぶビジョン高校生サミット 2026 出演 (9) SDGs の具体的な取り組み（各委員会と連携） (10) 掲示板作成 (11) 校内活動報告 <b>中学校（中学校執行部）</b> (1) 中学校の行事の企画・運営 ・新入生歓迎会                      ・ハロウィンパーティー ・クリスマス会                      ・3年生を送る会 (2) 行事等の進行、あいさつ（各行事、CCD、壮行式等） (3) 朝のあいさつ運動 (4) SDGs の具体的な取り組み（各委員会と連携） ・グリーンカーテンの設置 ・SDGs 掲示板作成 (5) ボランティア活動
反省 （振り返り）	<p>生徒会執行部、各委員会とも充実した活動を行うことができた。特に、継続して取り組んでいる SDGs 活動では、生徒が様々なアイデアを出し合い、目標達成のために学校全体で取り組むことができた。各委員会の活動について報告会を行い、全校でその取り組みについて共有するなど生徒の主体的な活動となった。</p> <p>中高の連携をさらに深めるために、中央委員会や各委員会の集まりを合同で実施したことがよかった。</p> <p>これからも生徒会と各委員会が連携を図りながら、生徒一人ひとりが積極的に活動を行うことができるようにしっかりとサポートしていきたい。</p>
評価（5段階）	4
来年度へ向けて	(1) 引き続き SDGs 活動を学校全体で取り組む。 (2) 中学校、高校生徒執行部が掲げた公約の実現。 (3) 生徒会と各委員会の連携を強化。

国際交流活動	
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の視野を広げるため、積極的に外国の方との交流の機会を計画する。</li> <li>・世界共通語としての英語を使う体験を通し、日頃の学習意欲の向上につなげる。</li> </ul>
実施事項	<p>1. <b>International Workshop【7月23日(火)～26日(金)】</b>  今年度は、ベトナム、中国、スリランカ、バングラデシュ、ミャンマー、カナダ、トリニダード・トバゴ、スペイン、韓国から外国人スタッフを迎え、中1、2年が4日間の交流を行った。各国の文化や暮らしについて学ぶとともに、英語を使って日本の文化や行事、萩市の魅力を伝えた。当初は緊張した様子が見られた生徒たちも、交流を重ねる中で次第に打ち解け、英語でのコミュニケーションを楽しむようになった。最終日には、参加者全員で各国の料理を協力して作り、食事を共にしながら交流を深めることができた。  また、午後は萩市近郊の小学生に募集をかけ、小学生プログラムを行った。海外への興味を高めるだけでなく、光塩の雰囲気を感じてもらうこともできた。</p> <p>2. <b>Cross-Cultural Days（5回実施（オンライン2回））</b>  ・7月29日（火）～30日(水)  サビエル高校に滞在中のモンゴルからの留学生19名が本校を訪れ、中学2年生から高校3年生までの光塩生12名と交流した。書道体験や浴衣での街歩きなどの日本文化を体験してもらったほか、一緒に海に出かけたり、モンゴルの指遊びを教してもらったりするなど、終始笑顔の絶えない2日間となった。  ・8月27日(水)  10月に本校を訪れた韓国・釜山の南星女子高等学校の生徒10名とオンラインで事前交流を行った。自己紹介をした後、学校や地域の紹介を行い、朝鮮通信使についても学んだ。質疑応答では、それぞれの国で人気のあるものを聞き合ったり、お互いの学校の制服を見せ合ったりした。10月のオフライン交流に向けて、良いスタートを切ることができた。  ・10月18日(土)～21日（火）  韓国・釜山の南星女子高等学校の生徒10名が本校を訪れた。  【主な交流内容】  18日(土) 福岡空港～小野田  19日(日) 南星女子高校、サビエル高校、萩光塩の生徒で長生炭鉱を訪れ、その後ホームステイ。  20日(月) ホストシスターと登校し、全校で歓迎会。午前は授業に参加し、午後は松陰神社と萩陶苑へ校外学習。  21日(火) 萩～福岡空港  今年度初めて試みたこの交流は、韓国政府教育部傘下の東北アジア歴史財団が主催する交流活性化事業の一環である。  交流を終えて、日韓の歴史認識（長生炭鉱や吉田松陰）に対する差も感じたが、一方的な観点だけを伝えるのではなく、お互いの違いを理解する方法を示して、生徒が自ら学び判断することができるようになることが大切だと感じた。生徒たちも過去の事実をしっかりと受け止め、いろいろと感ずることがあったようだ。また、政治的レベルでは日韓関係は複雑で困難なこともあるが、未来を担う世代はお互いに多くの共通点を見つけ、友情を確かに育んでいた。  ・10月30日(木)  ベリス・メルセス宣教修道女会より、Sr.クリスタ、Sr.荒川、Sr.西岡の3名が来校されました。Sr.クリスタは昨年12月に続き2度目の訪問となった。歓迎会では、生徒の質問にも丁寧に答えてくださり、温かな交流の時間となった。</p>

	<p>・12月10日(水)</p> <p>10月に本校を訪れた韓国・釜山の南星女子高等学校の生徒10名とオンラインで事後交流を行った。オフライン交流を行ってみたいの感想を伝え合った。</p> <p>3. 英語科補助教員</p> <p>・9月～2月 Leo (ドイツ)</p> <p>英語科の補助教員として、今年度はドイツ出身のLeoを迎えた。英語スピーチの練習や英作文の添削などを手伝った。</p> <p>4. New Zealand 研修【3月16日(月)～22日(日)】</p> <p>昨年度に引き続き、今年も1週間のニュージーランド研修を実施する。今年の中2、中3、高1、高2の生徒4名が参加する。英語学習だけでなく、ニュージーランドでしかできない体験を通して、視野をさらに広げることができるかと確信している。</p>
反省	<p>国際交流の場での生徒たちの表情やその後の感想を見ると、毎回「実施して本当に良かった！」と思う。このような機会を通して、海外に興味・関心をもつようになる生徒が増えていると手応えを感じている。</p> <p>ホームステイを引き受けてくださった保護者からも好意的な意見が多く寄せられ、非常に心強い。</p> <p>反省としては、準備がぎりぎりになってしまうことが多かったため、余裕をもって相手とのやり取りを行いたい。</p>
評価(5段階)	5
来年度へ向けて	引き続き、生徒の海外の方との交流の抵抗を少なくするために、国際交流の機会を多く設定したい。今年度行った取り組みは今後も継続し、新たな取り組みにも挑戦していきたい。

ボランティア活動	
目標（計画）	「奉仕の精神」を養う場、地域貢献の場として重要な活動と位置づけ、生徒が積極的に取り組めるようにする。地域貢献、異文化理解を柱に活動するメルセダリアン・インターアクトクラブ及び、学期末のボランティアへの登録者（インターアクター）を中心に活動を続ける。生徒自身に自覚を持たせ、活動に取り組ませる。
実施事項 （活動内容）	<p>高校では、4月に募集したインターアクト登録者が、「養護老人ホームつばき」、「子ども発達支援センターからふる」を訪問し、草取りや窓ふき、おもちゃの消毒などの清掃活動を行った。年間を通して老人ホームへ手紙を出す「老人ホームへの手紙」の活動を行った生徒もいる。</p> <p>生徒会や宗教委員会の呼びかけによる物資の収集、支援も継続しており、募金活動（チャイルドスポンサー、クリスマス献金等）、物資支援（ほしの家、釜ヶ崎越冬支援）などを行った。経済委員会のベルマーク収集をもとにした寄付のほか、障がい者の自立・就労支援につながるコンタクトレンズの空ケース回収を生徒会が、絵本の寄付「ありがとうブック」を図書委員会が、巻心回収のエコプロジェクト、書き損じハガキ収集をメルセダリアン・インターアクトクラブが呼びかけた。</p> <p>中学校も清掃活動や24時間テレビボランティア、萩時代まつりなど、参加可能な活動に積極的に取り組んでいる。</p> <p>その他、生徒が参加した活動には以下のものなどがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乙女峠まつり</li> <li>・はぎマルシェ</li> <li>・E.G.F 春の収穫祭</li> <li>・伊与原新さん来萩記念イベント</li> <li>・萩・卓球バレー交流大会</li> <li>・「ダメ。ゼッタイ。」国際麻薬乱用撲滅ヤングキャンペーン</li> <li>・萩セミナーハウス放課後子ども教室</li> <li>・阿武小学校放課後子ども教室</li> <li>・萩博物館高校生コミュニケーター</li> <li>・吉田町祭り</li> <li>・児童館イベント</li> <li>・24時間テレビ</li> <li>・警察学生ボランティア</li> <li>・明倫学舎「ワクワク！ドキドキ！今年は何でもやっちゃおう？フェス」</li> <li>・わくわくキッズフェスタ</li> <li>・ハロウィンたまち&amp;結まつり</li> <li>・萩ライオンズクラブ杯卓球バレーボール大会</li> <li>・萩ふるさとまつり、萩時代まつり</li> <li>・椿西小学校学び直し大作戦</li> <li>・クリスマスキャロリング(施設訪問)</li> <li>・二十歳のつどい(実行委員)</li> <li>・献血キャンペーン(はたちの献血、萩ライオンズクラブ主催推進活動)</li> <li>・萩市内清掃活動</li> </ul>
反省 （振り返り）	ボランティアの募集は例年どおり多数来ている。参加希望者も一定数いるが、部活動や試験期間、模擬試験等との兼ね合いで参加が難しい場合があった。都合のつかないものもあるが、生徒がさまざまな活動に参加できるように、情報提供は続けていきたい。
評価（5段階）	4
来年度へ向けて	生徒にさまざまな活動に参加してもらうため、今後もボランティアの案内について、放送、掲示、タブレットでの配信を通じて伝えていきたい。参加できるボランティアには、積極的かつ責任をもって取り組んでほしい。言葉遣い、態度などの事前指導や、活動後の振り返りなどを引き続き計画していきたいと考える。

業務改善	
目標	教職員の業務内容を見直すことにより、労働時間の短縮を図り、かつ教材研究や生徒との面談など本来の業務に充てる時間を確保する。
実施事項	<p>(1) Happy Earth Day の実施 昨年度に引き続き、全員が午後 7 時までに職員室・本館から退出し節電に努める Happy Earth Day を毎月 3 回実施した。節電だけでなく教員の働き方改革にもつながった。</p> <p>(2) 各種検査の見直し 毎年行っていた中 2、高 1 の知能検査と高 2 の進路適性検査の実施を取りやめた。これにより、集計や送付など、担任や担当の負担が大幅に減った。</p> <p>(4) Teams、Classi、BLEND、ロイロノートの活用を前年同様に行った。</p> <p>(5) 紙媒体のデータ化への移行（行事予定表、有給休暇届けなど） 昨年度まで紙媒体で配布していた中学校通信や各種アンケートなどを Classi 上で配信・集計を行うことで、大幅な業務削減につながっている。</p>
反省	毎年、様々な業務改善を行うことで負担が軽減され、仕事が効率的に進められるようになってきた。その一方で、便利さに甘えてしまい、今までなかったようなミスが増えてきた。もう一度全教職員が、仕事に対して強い責任感をもって取り組んでいく必要がある。
評価（5段階）	4
来年度へ向けて	今後も、業務改善できる内容をしっかり精査し、必要なものは積極的に進めていく。「ただ楽になるから」という考えではなく、「効率的に仕事を進められる取組」を目指して業務改善を行いたい。

#### 4 保護者からの意見

##### 菟光塩会総会（5月21日）

1. 総会は、スムーズに行われていたように思います。今後、平日参加が難しい方も多いため、委任状だけよりは、事前に議案を配布して書面決議も可にした方がいいのではないかと思います。授業参観は、普段の様子を見られる貴重な機会でありがたいです。学級懇談は参加者が少なかったですが、ざっくばらんにお話できました。
2. 授業や学校、学級での様子も良く分かり、非常に有意義な機会となりました。大変お世話になりました。
3. 授業の様子が分かり良かったです。
4. 多方面にわたりご配慮いただきありがとうございました。
5. 総会はとてもスムーズで、内容もわかりやすく、初めて知るような事（今回だと製氷機の導入など）も知れました。もし、付け足すならば今後は何を導入して欲しいかの希望や検討中の事を聞いてみたいなと思いました。
6. 学級懇談会にも参加しました。担任の先生から学級での様子が聞け、質問もできてよかったです。
7. 授業参観と懇談会で先生の授業や生徒に対する姿勢が、とても丁寧で一生懸命なのが伝わってきました。光塩で良かったなと思いました。

##### 中学校英語スピーチコンテスト（6月21日）

1. 長文の英語を暗記し、ジェスチャーを付けながら発表されていて、素晴らしかったです。一人ひとりの個性に触れる事が出来て楽しかったです。
2. スピーチコンテスト本番を聞くことは出来なかったのですが、コンテストに向けて毎日自宅で練習を積み重ね、発音や表現を向上させようと努力する良いきっかけとなったようです。
3. 文の構成と発音が、素晴らしかったです。先生方の御指導に感謝するばかりです。中3は3年間の成長が全員に見られた、素晴らしいスピーチだったと思います。感動しました。

### 文化祭（6月28日）

1. それぞれの部の発表はどれも良く準備されていて素晴らしかったです。先生のタコライスが大人気でしたね。大変おいしかったです。お化け屋敷も大行列でした。準備期間が少ない中、素晴らしい内容だったと思います。
2. 子ども達も先生も、輝いていた文化祭だったと思います。全てのパフォーマンスのレベルが、昨年から更に上がっていて素晴らしい文化祭でした。中3の書道パフォーマンス、大変感動しました。
3. 日頃から子どもの部活動での活躍を観ることができていなかったもので、初めて観られてよかったです。
4. 生徒一人ひとりが輝き、みんなが協力して完成させた文化祭、とても素敵な文化祭でした。
5. 子どもが一生懸命練習していました。このような機会に恵まれて、良い経験になると思います。

### 学校清掃作業（8月2日）

1. いつもお世話になっている学校の清掃作業に親子で参加出来てよかったです。暑い中での作業でしたが、終わりに冷えたお水をいただき有り難かったです。
2. とても暑かったようです。もう少し短い時間でもいいかもです。
3. 今年は仕事で参加できず、申し訳ございませんでした。毎年、子ども達の体育祭に向けて安全に整美して頂き、感謝しております。
4. スムーズに終わって良かったです。
5. 暑い日で大変でしたが、みなさんの協力でスムーズに作業ができたと思います。
6. 家族が参加しましたがスムーズに作業できたと聞いています。

### 体育祭（9月7日）

1. 部活対抗リレーは それぞれのユニフォームや楽器などで楽しく演出されていてとても素晴らしかったです。親子競技は、みなさんととても真剣に取り組まれていて、見ている方も応援に熱が入りました。
2. 中学生も高校生もそれぞれに活躍していて素敵でした！高校生の保護者がこんなにたくさん観にきてくれる学校ってあまりないのではないかなと思います。光塩の生徒の素直さと保護者や地域の温かさを感じました。
3. 光塩伝統の演技は、動が多い体育祭プログラムの中に、静の美しさが光っていて、心が癒やされ、毎年楽しみにしています。時代を反映した競技も、毎年大変素晴らしいと思っています。
4. 閉会式の時、生徒達は座って話を聞いても良かったのではと思いました。
5. 学校指定でもよいので、アームカバー着用を認めて欲しい。もしくはアンダーの着用。水分補給の時間をしっかりとってほしい。水筒の保管場所がテントに近いと良い。
6. 楽しかったです。
7. 子どもは応援団に入っていたので夏休み中から練習や打ち合わせに努めておりましたが、他学年との交流も増え、とても楽しそうに取り組んでおりました。何事も生き生きと取り組んでいて体育祭を盛り上げたいという気持ちが伝わりました。
8. 天候も良く、生徒たちも皆楽しそうで、見ているこちらもしめました。
9. 今年の体育祭の日も暑い日でしたが、子供たちが一生懸命に取り組む姿、また生徒1人ひとりが生き生きとしており、楽しそうにしている姿が見られてよかったです。
10. 楽しかったと言っていました。暑いですが体調を崩さず参加できました。日頃の家庭での生活リズムもとても大切だと思いました。
11. ここ数年、夏は猛暑なので開催する時期を検討したほうがよいかなと思います。
12. 最後の体育祭をしっかりと楽しんでいる姿が見られたのでよかったです。

### 高校秋のオープンスクール（10月7日）

1. 大変楽しみにしておりました。入試要項の説明など、詳細にありがとうございました。子どもも、授業も楽しそうに受けておりました。
2. 中3の娘さんのいる保護者の方が参加されたそうです。光塩の受験は初めてなのでわからな

いことだらけだけど、校長先生から学費の説明をしていただきとても参考になったとお話しされていました。

#### 中学校第2回オープンスクール（10月25日）

1. 保護者座談会でオープンスクールに参加された方々から授業の雰囲気がとても落ち着いてよかったという感想を聞きました。他の私立中学校と迷っていたがオープンスクールに参加し授業見学等をして光塩に決めたいと思ったという方もいらっしゃいました。学校紹介で生徒がハキハキと説明している様子を見て、入学してから英語スピーチコンテスト等の発表を経験して積極的に人前で話せるようになるのではないかと期待されている保護者の方もいらっしゃいました。オープンスクールでの学校の印象はとても良かったようです。
2. 大変お世話になりました。入学後、卓球を頑張りたい思いを強くもたれておる保護者の方々のグループでしたが、皆様熱心に聞いてくださいました。

#### 学校開放日（10月29日）

1. 平日授業日の子どもの様子を見ることができて有り難かったです。先生方、平素から楽しく分かり易い授業をありがとうございます。
2. 開放日があるのはとても良いと思います。学期に一回、一週間程度の開放があれば行きやすくなると思いました。
3. この週はパスポートの説明会や開校ミサもあり、せっかくの学校解放日でしたが都合がつかず残念でした。選択科目の授業はどんな様子か観てみたかったのでまたぜひ企画していただけると嬉しいです。

#### 開校記念ミサ・サルキーコンサート（10月31日）

1. 我が子は病み上がりで歌が歌えませんでした、中学生合同の祈りを捧げさせていただき、有り難かったです。
2. サルキーのコンサートが楽しかったようです。ただ、会場が寒くて困ったと言っていました。
3. 初出席で素晴らしい体験をさせていただきました。神父様の言葉が生徒たちに響いたことと思います。ありがとうございます。
4. 生徒さんの聖歌やハレルヤ合唱が聞けるので毎年楽しみにして参加しています♪今年はサルキーのライブはペンライトも配布されて一段と盛り上がり楽しかったです。
5. 貴重な体験と、皆さんが歌うハレルヤに感動します。

#### バザー（11月23日）

1. 皆さんの協力を頂いてとてもスムーズに運営できたと思います。天候にも恵まれて、大盛況でした。学年をまたいで、保護者の方と交流出来て、よい機会となりました。お世話になりました。
2. 焼きそばの準備において、購入するものがはっきりとわからなかったです。
3. 担当の方が作ってくれた手順書がとても役立ちました。
4. 当初決めていた手順と当日お手伝いに来てくれた保護者とで多少感覚のズレがありました。楽しく活動してくれるのはありがたいが、担当者の指示に従ってもらいたかったです。
5. 焼きそばは、売り切れだったので残念という声がありました。来年度はもっと増やしてもよいかと思います。
6. てんぷらは、今年初めて販売しました。おいしいという声を多くいただいたが、売れ残ってしまいました。来年度はもっとPRしたいと思います。
7. のみの市の教室にいましたが、校内放送のボリュームが大きくて、特にアナウンスの時は、室内の会話が聞き取れない程でした。
8. テントに番号が割り振ってあれば、間違えることなく、もっとスムーズに設営ができたと思います。
9. バザーのゴミの回収について…焼きそばを購入したのですが、食べた後にゴミ箱が見当たらず…。ソースが垂れたりして困るので、購入場所で引き取って頂けるとありがたいです。設置してあったのに、私が気付いてなかったのなら申し訳ありません。

#### キャロルコンクール・クリスマス祝い（12月18日）

1. 中3のキャロル、とてもきれいでした。少人数で何事もがんばって取り組んでいる姿は、本当に頼もしいです。その他のクラスも協力して取り組んできたことが感じられる歌声でした。1年生、2年生、3年生となるに従って成長していつている生徒たちの様子を見られて、他人なのに感動しました。
2. 大変有意義な時間を過ごさせていただきました。キャロルコンクールや、クリスマス祝いで合唱隊の歌で、心が温かくなりました。保護者にも、ロウソクを灯してくださり、更に心が温かくなりました。光塩の行事にはいつも心に届く歌があります。歌があることで、光塩の良さが一層輝いていると思います。素晴らしい環境の中で、学校生活を送ることができ、本当にありがとうございます。
3. 12月は期末テストやクラスマッチや週末の部活の試合で忙しそうでした。キャロル前の数日間でクラスをまとめるのは大変そうでしたが、ちゃんと声を出して歌っている生徒さんの頑張っている姿は観客席から観てわかりましたよ。
4. 光塩らしくてステキだと思います。見てみたいです。

#### カルタ会（1月8日）

1. 子どもに聞いたところ「冬休みにカルタに取り組んだ人とそうでない人の差がハッキリ出た会だった？同時に札を取った時に上級生が下級生に譲るなど、ほっこりする場面もあった。」とっていました。他学年と交流できる良い機会になっているように思います。
2. 新年に相応しく、貴重な機会だと感じております。体育館の床で、真剣にカルタに向かうため、終わる頃には脚腰が痛くなったりもすることもあるようですが、これも集中して真剣に取り組んだ結果であり、大切な思い出や学習になっていると思います。
3. 読手の声の後ろの人は聞こえにくかったようです。
4. 大会に向けて頑張っていて覚えています。クラスの団結力が高まったと言っていました。
5. 光塩の生徒でカルタを作成して欲しいです。
6. 普段関わりの無い後輩に関わられた事がよかったと言っていました。

#### 萩市駅伝競走大会（1月18日）

1. 選手の皆さん、応援の方、お疲れ様でした！何にも協力できずすみません。
2. 到底走れない上に、都合がつかず直接応援に参ることもできませんでしたが、市の大々的な駅伝に、光塩ファミリーとして参加され、本当に素晴らしいと思います。参加されるまでから当日まで、本当にお疲れ様でした。
3. 選手、応援、先生方、ご参加ご協力ありがとうございました。天候も良く、無事完走、おかげさまでした。
4. 運動が得意なら走ってみたいです。
5. 参加された選手や関係者の方々お疲れ様でした。この度は応援に参加させて頂きました。昨年より少なく、あまり分散して光塩ファミリーの旗やプラカードを持って応援ができなかったように感じます。もう少し多くの方々と応援もしたいなあと思います。

## 5 教員の自己評価と外部評価

教育目標をもとに28の項目を立て、教員一人ひとりが自己評価を行い、理事・監事・評議員に外部評価をお願いした。それぞれの項目について評価は1～5の5段階で行い、その平均を示した。

目 標		自己評価	外部評価	
1	教育目標	自分のまわりに喜びと光をまく人として、将来社会に貢献できる人材の育成に努めた	3.7	5.0
2		建学の精神をふまえ、全ての生徒がその個性と能力を最大限発揮できるようかわり人間力の育成に努めた	3.7	4.7
3		国際社会共通の目標である SDGs に学校全体で取り組むため、自らも意識して行動した	4.0	4.7
4	生徒に身につけさせたい力	人間力を身につけさせるため知的能力的要素（基礎学力、専門的知識、プレゼンテーション力、論理的思考、創造力）の育成に努めた	3.7	5.0
5		人間力を身につけるため社会・対人関係的要素（コミュニケーション力、リーダーシップ、公共心、規範意識、相互啓発）の育成に努めた	3.7	4.4
6		人間力を身につけさせるため自己制御的要素（意欲、忍耐力、自己受容、自己実現）の育成に努めた	3.5	4.0
7	私たちのミッション	萩光塩学院の教育理念を理解し、それを学校教育において日々具現化し、充実・発展させた	3.8	4.7
8		各教科で研究を行い、生徒の基礎学力の定着と応用力の発展に努めた	3.4	4.4
9		生徒の進路実現に向けて、現状の課題をみつけ、対策・強化に努めた	3.5	4.7
10		地域との連携・協働を通じて生徒の役割や活動の場を増やし、生徒の自己肯定感の醸成を図った	3.4	4.7
11	教育的情熱・真剣さ	理想を掲げ、具体的な目標に向かって生徒と共に汗を流した	3.7	4.4
12		生徒一人ひとりのよさや可能性を引き出し、のばすよう努力した	3.8	4.6
13		受容的姿勢を大切にすると共に、生徒の将来を意識して「是は是、非は非」とした指導をした	3.8	4.4
14		真摯な態度で職務に取り組み、モラルの向上と綱紀の保持に努めた	4.0	4.3
15	めざす教師像	教科研究・教科指導に積極的に取り組んだ	3.6	4.6
16		責任をもって自分の役割を果たすと共に組織の一員であることを忘れず、助け合った	3.8	4.3
17		生徒や保護者、地域との連携を図り、迅速に対応することで信頼関係を築いた	3.7	4.1
18		地域との交流を深化し、地域が本校に求める情報等を入手し、学校運営等に反映させた	3.3	4.4
19	総合的な人間力を高める	自らの個性や特技を積極的に発揮するよう努めた	3.7	4.6
20		TPO を意識して仕事に取り組んだ	3.7	3.9
21		自ら考え、工夫し、チャレンジ精神を忘れず実践した	3.5	4.3

1	教職員全員で『決まりを守る』 気で取り組む7項目	提出物の期限を守った ・ミスがないかを確認し、必ず期限を守って提出する	3.7	4.0
2		教職員同士の連携強化に努めた（仲間を思いやる、ミスを補い合う） ・コミュニケーションを大切にし、ミスを補い合う気持ちを高めた	3.8	4.3
3		綱紀保持に努めた ・体罰、暴言、飲酒運転、交通事故、個人情報管理、各種ハラスメント、公金管理、言葉使い等 ・就業規則、職員手帳を熟読し規範意識を高めた	4.0	4.4
4		学校施設・設備・備品の管理、取扱いに気をつけた ・学校備品の整理整頓、使用後の清掃などをきちんとおこなった	4.1	4.1
5		時間を守った ・授業の開始と終了、ホームルームの開始と終了、掃除・下校時刻等勤務時間の厳守に努めた	3.9	4.6
6		身の周りの整理整頓を確実に行った ・机上やロッカー、教室等	3.6	4.1
7		健康管理に努めた ・感染防止対策、暴飲暴食、睡眠不足等に気をつけた	3.8	4.4

## 6 その他

○今年度もいくつかの部活動で顕著な成績を上げた。女子卓球部は中学校・高校ともに全国大会出場を果たした。中学校は個人の部で、中3の道中芽里さんがベスト32に入り、高校では、地元開催のインターハイで、ベスト16入りを果たした。さらに、それぞれ今月末に行われる全国選抜大会にも出場予定である。少林寺拳法部では、高2木村夏帆さんが中国新人大会で8位入賞となり、同じく3月末に行われる全国選抜大会に出場予定である。また陸上競技部では、高3塚本愛音さんが、県総体女子三段跳びで3位入賞となり、中国大会に出場している。女子バスケットボール部は、3×3西日本大会に山口県代表として出場し、7位に入賞した。

## 7 理事・監事・評議員のご意見

○先生方の生徒や保護者との真摯な関わりを大切にしておられる姿が光塩の良さとして周りに伝わり、募集に大きな影響を与えていると感じている。

○卒業式を来賓席から拝見している、先生方の教育の成果がよく分かる。中村校長の「他者のために温かな心で」という式辞にも感動した。校長を中心に教職員の皆様が、生徒一人ひとりを大切にされていると思う。

○先生方が日々の授業、生活、行事等の中で生徒を大切に思い、一生懸命関り指導してくださっている姿が見られ、うれしく思う。これからも、先生方が良い意味で刺激合って成長されますように。そして校長先生のリーダーシップのもと、先生方一人ひとりが光塩にとって大切な存在であることを自覚し、光塩の教育に力を注いでくださるように。

○文化祭、体育祭、バザーなどの学校行事を通して、先生方の生徒との関わりや努力が数多く感じられ、外から見る事ができた。“めざす教師像”を大切に、生徒の未来、光塩学院の未来を作っていただきたい。卒業式の校長先生の式辞が多くの人に届きますように。

○先生方は、本当に頑張っておられると思う。なかなか参加することはできないが、卒業式に出席すると涙がボロボロとこぼれる。空気感や歌声の美しさ、感謝であふれた暖かい気持ち。光塩は最高です。

○毎年、改善や新たな取り組みをされており、良いと思う。部活だけでなくコンクールなどの成果、または応募しようとする生徒への促し、支援する先生の取り組みに感謝している。

○少人数によるきめ細かい、手厚い、生徒に寄り添う指導が光塩学院の強みである。現在も生徒の個性を生かしながら様々な活動をされているのをSNS等でよく見ている。今後も特色を生かし、生き生きとして活気ある学校運営をお願いしたい。

## 8 学校関係者評価委員会のご意見

- 先生が忙しすぎる。少ない人数の中でこれだけのことをやっているのに、まだまだ要求がある。生徒たちが幼いままの印象で、対応が大変だと感じる。
- 光塩の国際交流は誇れる内容なので、学校の魅力としてもっともっとアピールした方がよい。生徒のトラブルをゼロにするのは難しいが、先生方は丁寧に対応されていると思う。
- 盛りだくさんのカリキュラムがあり、高く評価している。行事をやるときは、どういう過程で選んだのか、どんなリスクがあるかなど、リスク管理の徹底をお願いしたい。また、エージェント任せにせずに学校側も勉強するべきである。
- 先生方の自己評価では、地域との連携が低くなっているが、探究活動などで関わる時は、生徒はすごく真剣に質問をしてくれる。先生方はもっと自信をもって点を高くしてもよいと思う。
- 開校記念ミサのサルーキ=コンサートでの高校生の元気の良さにびっくりした。バザーも大盛況で、生徒の表情がとても明るかったのが印象に残っている。生徒がすごく楽しそうである。